

2025 年度 コラファス賞

受賞おめでとうございます

今本 南さん

西村 開さん

上記 2 名の方々が 2025 年度コラファス賞を受賞されました。



今本 南さん



西村 開さん

受賞論文タイトル

The evolution of egg-eating cichlids – their conservation and ecological adaptation

今本 南さん 生命理工学コース 二階堂研究室（博士後期課程 2025.3 修了）

Studies on albumin-based boron neutron capture therapy and near-infrared photothermal therapy

西村 開さん ライフエンジニアリングコース 中村・岡田研究室（博士後期課程 2025.3 修了）

コラファス賞とは

1982 年スイスの科学者、Dimitris N. Chorafas 氏によって設立された賞で、バイオテクノロジーを含む化学の様々な分野の研究を対象とし、若い研究者への援助を目的としています。今回の応募条件は 2024 年 6 月～2025 年 12 月に博士の学位を取得ないしは取得予定であること、かつ 1993 年 6 月以降生まれであることでした。我校は世界 13 カ国 21 の協力校のひとつになっており、学内で 1～2 名を選考して候補者として推薦し、ほぼ毎年受賞しています。次回 Chorafas Prize 2026 への応募は、2026 年 1 月上旬頃に学院長から研究室教員向けに呼びかける予定です。卒業年となる博士課程のみなさん、コラファス賞は、国際的な評価を得るチャンスです。学生時代の総括として自分の研究成果を世界にアピールしてみませんか。ご応募をお待ちしております。